ピーター・セラーズのマ☆ウ☆ス（1959）

THE MOUSE THAT ROARED

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　コメディ
製作国 イギリス
時間 80分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

レナード・ウイバーリーのユーモア小説『小鼠ニューヨークを侵略』をＰ・セラーズ主演で映画化したＳＦコメディ。ヨーロッパの片隅に存在するグランド・フェンウィック公国は、葡萄酒こそが唯一の財源というちっぽけな国。しかしアメリカがその模造品を作って安く売り出したために国家財政は危機に瀕した。公国議会はアメリカ許すまじと宣戦を布告、どこかたよりないタリー・バスコムを隊長にアメリカ東海岸に攻め入る事を決定。バスに揺られて港に着いた一行は、オンボロ船に乗り込んで一路アメリカ本土を目指す。しかし、ニューヨークでは天才科学者の発明した新型爆弾の実験が今しも行われようとしていたのだ……。

原作の持ち味を十二分に活かした脚色・演出・キャスティング。Ｐ・セラーズは主人公バスコムだけでなくグランド・フェンウィック王妃、それに悪事を企む宰相の三役を見事にこなし（ＴＶの吹き替えは３人とも別の声優さんになっているが）、作品世界の持つユニーク具合を象徴した芝居を見せる。あの「博士の異常な愛情」なんかよりもこちらの方が早いのである。モンスター映画の監督として有名なＪ・アーノルドにとってもこれはベスト・ワークと言えよう。ジーン・セバーグのおきゃんなヒロインぶりもマル。ウイバーリーの続編『小鼠月世界を征服』も「月ロケット・ワイン号」として映画化された。

【クレジット】

監督	ジャック・アーノルド	Jack Arnold
製作	ウォルター・シェンソン	Walter Shenson
	ジョン・ペニントン	Jon Penington
原作	レナード・ウイバーリー	Leonard Wibberley
脚本	ロジャー・マクドゥガル	Roger MacDougall
	スタンリー・マン	Stanley Mann
撮影	ジョン・ウィルコックス	John Wilcox
音楽	エドウィン・アストリー	Edwin Astley
出演	ピーター・セラーズ	Peter Sellers
	ジーン・セバーグ	Jean Seberg
	デヴィッド・コソフ	David Kossoff
	ウィリアム・ハートネル	William Hartnell
	モンティ・ランディス	Monty Landis
	レオ・マッカーン	Leo McKern

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.